

2023年11月28日

各位

三井住友信託銀行株式会社

シンクサイト株式会社が実施する第三者割当増資の引受について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、AI 駆動型のイメージ認識型高速セルソーティング技術の研究開発および実用化を進めるシンクサイト株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役:勝田 和一郎、以下「シンクサイト社」)が実施する第三者割当増資を引受しましたのでお知らせいたします。

シンクサイト社は、東京大学および大阪大学で生まれた先端技術を基に、ライフサイエンスおよび医療の発展と革新を目指すスタートアップ企業として、光学、機械学習およびマイクロ流体等の異分野技術を組み合わせ、次世代型のイメージ認識型高速セルソーティング技術を開発しています。

この技術は、細胞を高速に判別・分取することができる技術で、機械学習を用いることにより、従来の技術では実現できなかった、蛍光染色なしに細胞を分取することを可能とし、さまざまな疾患の検査診断、治療、創薬に活用が見込まれる基盤技術です。本技術により、難治性疾患の早期発見、革新的な治療・創薬の実現、再生・細胞治療の効率化等に広く貢献することが期待されます。また本年6月には、これらの技術を搭載した次世代細胞分析分離装置である VisionSort®の販売を開始、グローバル市場での営業・マーケティング活動を展開しています。

今回の第三者割当増資による資金調達により、シンクサイト社では VisionSort®の量産体制の整備と、北米、欧州およびアジアにおける販売体制の強化を図るほか、VisionSort®に続く製品や、新たなサービスの開発を進め、革新的な製品やサービスを継続的に市場に投入していくことを企図しています。

三井住友トラスト・グループは、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」をパーパスとして定義し、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据え、社会課題の解決に貢献するインパクトエクイティ投資や、投資家への魅力的な投資機会の提供を推進しています。

今回、難治性疾患の早期発見、革新的な治療・創薬の実現、再生・細胞治療の効率化等に貢献しようとするシンクサイト社の取り組みに共感し、この度、インパクトエクイティ投資の一環としてシンクサイト社が実施する第三者割当増資の引受を決定しました。

今後も、このような社会課題の解決に資する取り組みを継続し、「資金・資産・資本の好循環」の実現を目指していきます。

<シンクサイト社概要>

名称	シンクサイト株式会社 ThinkCyte K.K.
本社所在地	東京都文京区本郷 7-3-1
代表取締役	勝田 和一郎
設立	2016年2月
事業内容	細胞形態・構造情報をもとにした AI 駆動型の高速度細胞分析分取技術および装置の研究開発
ウェブサイト	https://thinkcyte.com/

以上